

PUGWASH 会議の厂央

第一回 1957年7月 Pugwash, Canada.

U.S.A. 7, U.S.S.R. 3, 日本3, 英2, 加2, 濠, 独, オーストリア,  
中国, 佛, ポーランド 各々1.

- (1) 原子エネルギーを平和, 或いは戦争のために用いたときの危害.
- (2) 核兵器の管理.
- (3) 科学者の社会的責任.

第二回 1958年3月~4月 Lac Beauport,  
Canada.

「現在の状況の危険性とそれを軽減する方法」

U.S.A. 8, U.S.S.R. 4, U.K. 4, 加2, 独, 中国, 佛, 独 各1.

- (1) 現在の状況の危険性
- (2) 目前の危険をなくする方法
- (3) 緊張をゆるめる方法

第三回 1958年 9月 <sup>(Austria)</sup> Kitzbühel & Vienna

「原子時代の危険性及び科学者はそれに対して何をなし得るか」

U.S.A. 20, U.S.S.R. 10, U.K. 7 日本5, 西独5, 東独1  
佛4, チェコ2, 印3, 伊2, オーストリア, オーストラリア,  
ブルガリア, デンマーク, ハンガリー, オランダ, ノルウェイ,  
ポーランド, ユーゴ, 各1.

- (1) 核戦争の帰結
- (2) 軍縮についての技術的の面

第四回 1959年 6月-7月 Baden

「軍備管理と世界安全保障」

U.S.A. 12, U.S.S.R. 6, U.K. 3, オーストラリア、カナダ

中国、西独 各1

(1) Surprise attack に対する安全保障

(2) 核兵器の拡散防止

(3) 核実験の管理

(4) 兵力の削減

(5) ミサイルと人工衛星の管理

(6) 軍備競争に於ける心理学的な面

文五回 1959年8月 Pugwash

「生物兵器と化学兵器」

U.S. 8, U.K. 5, USSR 4, 加4, 仏2, デンマーク, 伊, スウェーデン  
各1.

文六回 1960年12月 Moscow

「軍縮と世界安全保障」

U.S. 24, USSR 21, U.K. 8, 中国4, チェコ3, 仏2, 東独2,  
西独2, ポーランド2, ハンガリー, オランダ各1.

- (1) 軍備競争と軍縮交渉の歴史
- (2) 限りない軍備競争の危険性
- (3) 実験停止交渉の現状
- (4) 世界安全保障体系の問題
- (5) comprehensive disarmament のプラン
- (6) 軍縮に関する政治的, 経済的及び技術的問題
- (7) surprise attack
- (8) 運搬の管理
- (9) 安定した世界のための基礎

オ七回 1961年9月 Stowe U.S.A.

「純粋及び応用科学に於る国際協力」

U.S.A. 20, U.S.S.R. 8, U.K. 4, オーストリア, オーストラリア  
ブラジル, ブルガリヤ, 西独, ハンガリー, 伊, 日, オランダ等I.

オ八回 1961年9月 Stowe

「軍縮と世界安全保障」

U.S.A. 22, U.S.S.R. 11, U.K. 4, 仏, オーストラリア,  
オーストリア, ブルガリヤ, 加, 西独, ハンガリー, 日, オランダ等I.

- (1) 核分裂性物質生産の減少と stock pile を無くすること
- (2) 兵器運搬体系の問題
- (3) 軍縮プランのオーパス
- (4) } 全面完全軍縮と交渉が成立するための pre-condition
- (5) }